

名古屋証券取引所の参加お申込みフォームにご記入いただいた
『知りたい情報・ご質問等』に対する補足説明

知りたい情報・ご質問等	補足説明
1 マグネシウム合金薄板について	当社ウェブサイトで紹介している以外の製品も扱っていますが、数量は僅かです。
2 レアメタル分野の将来性について	仕入れ源の多様化に関心はありますが、多額の投資は計画しておりません。
3 ロボットなど産業機械の見通し	輸出が下支えとなり、回復基調となってきました。
4 鉄鋼以外に力を入れている分野はどこか	「ものづくり」に関連する産業資材、情報・電機分野に注力しております。
5 鉄鋼製品の取扱いメーカーはどこか	新日本製鐵、JFEグループ、大同特殊鋼、東京製鐵、共英製鋼さんなどです。
6 電子機器の主な取り扱いメーカーはどこか	半導体ではインテル、FA機器では三菱電機さんなどです。
7 電子機器の輸出について	電子機器については、主に部品の輸出に取組んでいます。
8 先端技術商品の開発見通しについて	各メーカーさんが開発した製品に関する需要先開拓を行っています。
9 今後のIR活動について	名証IRエキスポ(7月16-17日)、名証サマーセミナー(8月24日)が決まっています。
10 企業買収を考えているか	具体的に検討している案件はございません。
11 アジア各国での設備投資について	製造子会社での設備更新が多少ありますが、大きな案件は計画していません。
12 アジア向けに伸びている商材について	鉄鋼、電子部品などが最近伸びています。
13 アラブ首長国連邦、ドバイでの営業活動について	見本市に出展するなど、情報収集に努めています。
14 公共事業減少の影響について	土木建築分野は、昨年度に引続き厳しい環境にあると認識しています。
15 円高の影響	為替レートについてはリスクヘッジを徹底していますが、輸出へのブレーキとなる懸念があります。
16 外部からの直言を受け入れる仕組みについて	社外監査役3名を独立役員に指定し、アドバイスをいただいています。
17 アジア市場中国とその他の東南アジアの比率は	アジアの内、タイが4割、中国が3割、他、シンガポール・インドなどと続いています。
18 商社としては知っているが、メーカー機能も強化と聞くが製品は	製造加工分野は、自動車部品関連、家電関連などが主体です。
19 新興国、ロシア、ブラジル等の現状と将来	ブラジルについては調査研究段階です。ロシアについては未定です。
20 中長期計画について	2011年度からの次期中期計画を今年度後半に策定する予定です。
21 社員の人数、平均年齢、平均勤続年数、年収	有価証券報告書で公表している2009年度単体のデータは、654名、39.5歳、13.9年、803.4万円です。
22 社長室について知りたい(壁の色、床面積、個室か)	薄茶色で、79㎡の個室です。
23 投資有価証券が多いが、保有株と銘柄は	トヨタ自動車、新日本製鐵、三菱UFJフィナンシャルグループを始め約320銘柄です。
24 東京市場への上場は考えていませんか	現時点では予定しておりません。
25 有利子負債が多いように思いますが、今後の見通しは	商社としては適正な水準ですが、在庫の圧縮など資金効率の改善に努めております。